

科目名 Course Name	介護予防運動論 Lectures on Nursing Care Prevention Exercise			ナンバリング No.	G3-003		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	和田晴美						
連絡方法	C-ラーニング に対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(履修要件あり、詳細はキャリアデザインのための資料を参照)						
関連 DP	DP1、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>介護予防とは、高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れるように支援することである。この授業では、介護予防の概要、行動科学、失禁、転倒、高齢者の栄養改善活動、口腔機能向上、認知症について学ぶ。</p> <p>① 介護予防が必要とされている社会的背景、介護予防の目標を説明できるようにする。 ② 健康行動が定着しない理由と、健康行動定着へのポイントを列挙できるようにする。 ③ 要介護につながる失禁、転倒、栄養改善、口腔機能向上、認知症の原因がわかり、これらに対する介護予防プログラムを説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心であるが、失禁予防、転倒予防、栄養改善プログラム、口腔機能向上プログラム、認知症予防プログラムはディスカッションなどの方法を用いながら演習も行う。						
学習成果	L01						
	L02	社会的背景をふまえた介護予防の現状を認識し、介護予防に必要な健康行動定着に向けた支援を実践することができる。					
	L03	高齢者の要介護につながる失禁、新型栄養失調、口腔機能の低下、認知症の概要とその予防方法を習得し、対象者に指導をすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業内で小テストを行い、解答解説する。						
教科書/参考図書	介護予防運動指導員養成講座テキスト「介護予防」 受講手続き後、配布となる。(介護予防運動演習と共用)						
履修上の留意点やルール等	時間によって、教室、体育館、トレーニングルームを使用するので、確認すること。演習時はトレーニングができる服装、中履用のシューズを準備すること。「介護予防運動指導員」資格取得のためには、同時期に開講される「介護予防運動演習」の履修と資格試験を受験することが必要である。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	評価基準Sは、授業の準備(テキスト、配布プリント等)が整い、講義は集中して聴いていること。演習時には服装等の準備が整い、他者と協力しながら積極的に参加していること。		20		
レポート/作品					
発表	個別プログラムの発表を行い評価する。事例を考察し、的確な個別の支援ができていること。高齢者に対し分かりやすく伝えていること。			20	
小テスト	第7回目に小テストを行い、解説をする。			20	
試験	検定試験を想定し 4 者択一の問題とする。		10	30	
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法の説明)
	事前・事後学習	テキスト第1章を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
2	授業内容	老年学
	事前・事後学習	第1章の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第2章3章を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
3	授業内容	介護予防概論、地域づくりによる介護予防論
	事前・事後学習	第2章、3章の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第4章5章を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
4	授業内容	高齢者の社会参加と介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業と介護予防コーディネーション
	事前・事後学習	第4章、5章の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第6章を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
5	授業内容	行動科学特論
	事前・事後学習	第6章の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第11章特論を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
6	授業内容	転倒予防特論
	事前・事後学習	第11章特論の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第11章実習を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
7	授業内容	転倒予防実習【演習:体育館】
	事前・事後学習	第11章実習の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第12章特論を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
8	授業内容	尿失禁予防特論(高齢期における尿失禁の問題、排尿のしくみ)【小テスト 解答・解説】
	事前・事後学習	第12章特論の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第12章実習を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。小テスト不正解問題の解答。
9	授業内容	尿失禁予防実習(準備運動、筋力向上トレーニング、骨盤底筋運動)【演習:体育館】
	事前・事後学習	第12章実習の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第13章特論を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
10	授業内容	高齢者の栄養改善活動特論(高齢期の栄養問題、低栄養予防プログラム) 高齢者の栄養改善活動実習【演習:低栄養予防プログラム作成】
	事前・事後学習	第13章特論の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第14章特論を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
11	授業内容	口腔機能向上特論(高齢者の口腔機能の現状、口腔衛生のとらえ方)
	事前・事後学習	第14章特論の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第14章実習を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
12	授業内容	口腔機能向上実習【演習:口腔機能向上プログラム】
	事前・事後学習	第14章実習の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第16章特論を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
13	授業内容	認知症予防特論(認知症とは、認知症予防の根拠)
	事前・事後学習	第16章特論の到達度確認テストを行い自己採点する。テキスト第16章実習を読み、ポイントと思われる部分を抜き出してノートに記載する。
14	授業内容	認知症予防実習【演習:認知症予防プログラムの実施】 介護予防運動指導員資格試験について 試験対策
	事前・事後学習	第16章実習の到達度確認テストを行い自己採点する。
15	授業内容	介護予防運動指導員資格試験対策 資格申請および資格の更新について
	事前・事後学習	資格試験の模擬試験を実施し、不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。